

# 財政の“見える化”必要

竹谷さん 政策シンポで強調

公明党の竹谷とし子  
参院議員は18日、東京



竹谷とし子さん

都千代田区の明治大学  
で行われた「公共政策  
シンポジウム」（政策  
分析ネットワーク主  
催）へ出席し、「地方  
公会計の現状と今後の  
課題」について意見を

述べた。

竹谷さんは、「自分たちの納めた税金が、何に、幾ら使われているのかを“見える化”することで、財政のムダが見つけやすくなる」として、公会計制度改革の必要性を強調。

また竹谷さんは、行政サービスのコストについて「共有資産問題と言うが、人は自分が払うお金だと思わないとコスト感覚が無くない、必要以上の費用がかかる。自分たちが各行政サービスに関して幾ら負担しているのかを細かく開示すれば、無用なコストは抑制される」と指摘した。